

平成28年度 ふじみ衛生組合運営方針

事務局長 井上 稔
事務局長次長 荻原 正樹

●ふじみ衛生組合の運営方針

三鷹市及び調布市（以下「組織市」という。）の行財政を取り巻く環境は、引き続き、大変厳しい状況です。ふじみ衛生組合（以下「組合」という。）では、資源物回収や効率的な発電により、歳入の効果的な確保を図りながら、運営経費の抑制に努め、組織市の健全な財政運営に寄与するとともに、安全で安定した施設運営に努めます。

クリーンプラザふじみについては、引き続き、環境と安全に徹底的に配慮し、緊急事態への対応も含め適正なごみ処理に取り組みます。

また、リサイクルセンターについては、日々の不燃ごみ及び資源物を適正に処理し、資源化を継続して推進するとともに、施設の適切な維持管理及び長寿命化を図るための対策を実施していきます。

組合は、組織市約40万人市民の皆様の生活を守る立場で、ごみ処理行政を推進するとともに、両市の環境学習の中心施設として、市民に愛される施設づくりに努めていきます。

●職員数 正規職員14人（うち管理職5人） 短時間再任用職員3人
非常勤特別職嘱託員1人

●予算規模（当初）

一般会計 歳入 18億2,419万7,000円 歳出 18億2,419万7,000円
(職員人件費を含む)

(歳入内訳)

単位：千円

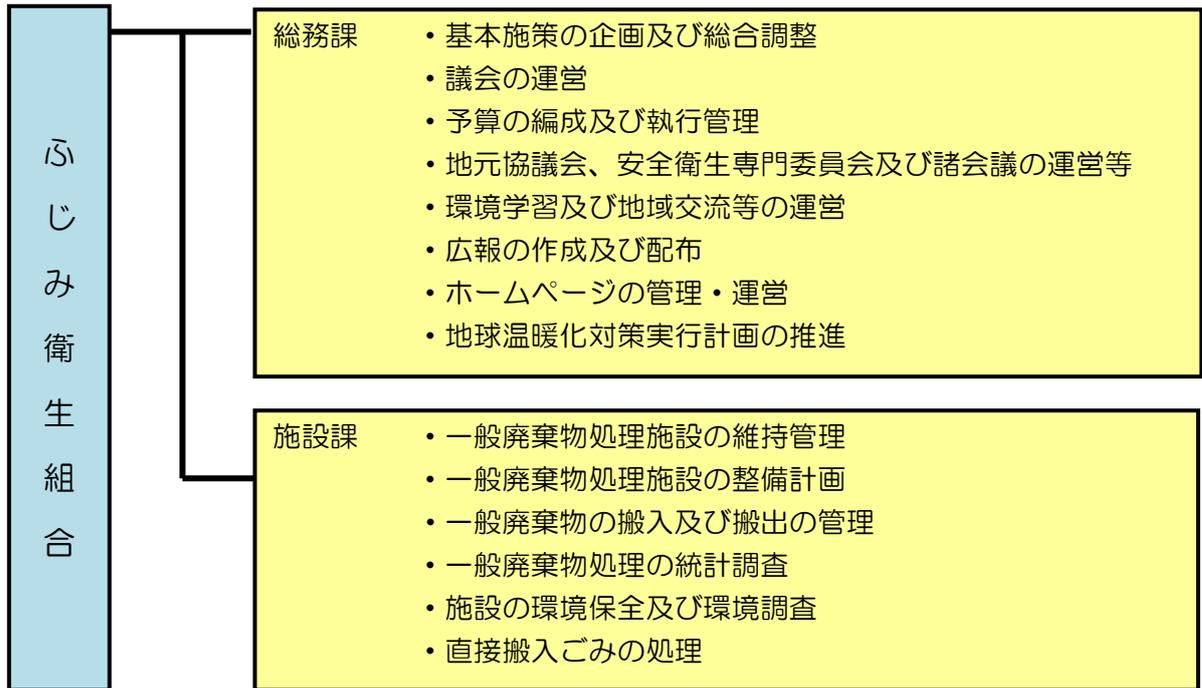
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	構成比
1 分担金及び負担金	876,289	814,101	62,188	48.0%
2 使用料及び手数料	393,400	367,500	25,900	21.6%
3 国庫支出金	2,651	1,672	979	0.1%
4 繰越金	20,000	20,000	0	1.1%
5 諸収入	531,857	520,956	10,901	29.2%
歳入合計	1,824,197	1,724,229	99,968	100.0%

(歳出内訳)

単位：千円

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	構成比
1 議会費	6,618	6,647	△29	0.4%
2 総務費	128,578	129,186	△608	7.0%
3 事業費	1,389,505	1,366,154	23,351	76.2%
4 公債費	279,496	202,242	77,254	15.3%
5 予備費	20,000	20,000	0	1.1%
歳出合計	1,824,197	1,724,229	99,968	100.0%

●組織体系図



●実施方針と個別事業の取り組み

【実施方針】

『環境にやさしい、ごみ処理施設を目指します。』

組合の保有する「クリーンプラザふじみ（可燃物処理・発電施設）」及び「リサイクルセンター（不燃物処理・資源化施設）」の処理施設を計画的に運転し、適切な維持管理を行い、安定した安全なごみ処理に取り組んでいきます。

施設の運営にあたり、地元協議会及び安全衛生専門委員会を定期的で開催し、生活環境の保全などについて、周辺住民の方々や専門家の意見を反映し、徹底的に環境に配慮した運転を行います。

また、排ガス測定値のリアルタイムでの公表及びダイオキシン濃度や放射性物質濃度などの各種環境データの定期的な公表を実施するなど情報公開に努め、市民の皆さんに安心・安全な施設運営への理解を深めていきます。

さらに、事故等の施設稼働緊急時や組合に寄せられる要望等に対しては、処理施設緊急時及び要望等対応マニュアルに基づき、迅速かつ適正に処理し、説明責任を明確にし、信頼される組合運営に務めます。

【個別事業の取り組み】

<施設運営について>

施設運営全般としては、運営会社及び委託事業者と連絡調整を密接に図り、環境保全を最優先にするとともに効率的で安定した運転を管理・指導します。

施設の運営管理状況等については、モニタリング実施要領に基づき、評価し、適切な運転監理を図ります。

クリーンプラザふじみの熱回収に伴う電力等の活用については、対象公共施設である「三鷹市中央防災公園・元気創造プラザ」の平成29年4月稼働に向けて、組織市と協議し、低温水及び電力供給の詳細事項を定め、明文化します。

地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガス排出量の削減に努めます。

計画的に組合職員が施設管理に必要な資格を取得し、運営会社及び委託事業者への持続した管理・指導体制を整えます。

○ごみ処理場管理費 100,095千円 ○研修・講習費負担金 270千円

●クリーンプラザふじみの運営

環境基準値及び自主規制値を遵守し、的確な予測搬入量による計画的な焼却を行います。

安定した焼却処理を確保しながら、効率的かつ安全な売電収入の確保に努め、運営会社の安定した経営を監理します。

不適正物の混入による施設の稼働停止を防止するため、定期的に搬入ごみの検査を実施します。

水銀対策など新たな取り組むべき事項については、国の法整備の状況なども踏まえ、その方向性を明確にし、適正なごみ処理に取り組みます。

○運営費 649,547千円(内売電収入396,542千円)

●リサイクルセンターの運営

精密機能検査に基づき、設備の定期的な更新・修繕を実施し、安定した資源物処理を実施します。

委託事業者と連携し、搬入量に応じた臨機応変な処理体制を確保します。

容器包装プラスチックについては、手選別ラインの効率的な処理の流れを構築し、ベール品質のAランク評価を目指します。

施設の計画的・段階的な整備のあり方について、これまでの調査を基に、現状と課題の整理、事業費やスケジュールなど組織市と連携し、具体的な調査を進めます。

○業務委託料 358,964千円 ○工事・修繕費 72,627千円

○不燃ごみ処理施設整備構想業務委託料 4,860千円

<財務会計事務の効率化について>

新公会計制度への対応など、財務会計事務の円滑な処理及び効率化を図るため、財務会計システムを導入します。

○財務会計システム委託料 8,514千円

<環境学習の推進について>

学校の社会科見学については、組織市の学校関係部署と協力し、両市域の全小学校の児童の見学を図り、積極的なごみの減量・資源化意識の醸成を推進します。

環境学習指導員に組合雇用臨時職員を拡充し、受付・施設案内、分かりやすく、親しみのある見学メニュー、施設内掲示、広報に努め、指導員の人材育成や環境学習機能の向上を図ります。

○環境学習推進費 9,480千円

<地域交流事業について>

地元協議会、地域住民、関係団体との協働によるふじみまつりを開催し、地域との交流を図り、親しまれる施設づくりに努めます。

会議室等を地域の町会、団体等に開放し、地域交流の場として施設の活用を推進します。

組合敷地内接道部を利用した花壇ボランティアによる花いっぱいプロジェクトを継続実施し、引き続き、花にあふれ地域に愛される施設づくりに取り組みます。

○ふじみまつり運営費 2,043千円 ○花いっぱいプロジェクト関係費 878千円

<地元協議会について>

定期的な会議を開催し、運転状況や環境データ、組合の運営状況などを報告・説明し、安全・安心な施設運営への理解を深めます。

定期会議は、年4～5回の開催を予定しています。

<安全衛生専門委員会について>

水銀対策など新たな課題や継続して取り組むべき事項などを検討し、さらなる周辺住民への安全を確保します。

定期会議は、年2～3回の開催を予定しています。

○地元協議会・専門委員会運営費 1,599千円

<啓発事業について>

ふじみ衛生組合及び組織市の広報、ホームページにより、具体的なごみの分別、排出、処理過程などをお知らせし、継続的なごみの適正排出の市民啓発に努めます。

地元協議会、環境学習推進員など地域の市民や関係団体が交流する企画については、積極的に参加し、後援します。

「エントツくん」をモチーフとしたグッズを組合及び組織市の施設で販売し、積極的に施設のPR及び市民に親しまれる施設の啓発に努めます。

○広報・ホームページ関係費 2,791千円

○エントツくんグッズ作成・販売関係費 776千円